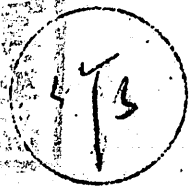


作戰緊急

一三 受 信 〇〇二四 丁 〇一三七 電 〇五九〇九

航作 概



第一挺身航空部隊

第一聯合基地航空部隊指揮官所在艦所。第三航空艦隊。東京通信隊。出水、臺南、東港、橫濱各空基地。

機密第一二二一〇八番電

聯合艦隊電令第四六七號

一 UFB 指揮官ハ左ニ依リ攻撃四〇一飛行隊ノ木更津臺南間ノ行動輸送(人員一〇六名物件一三・五噸)ニ協力スベシ(機種 機數 派遣 先 期日 空輸先 往復回數 一回ノ搭載重量ノ順)飛行艇一機濱空 十四日東港二回三・五噸(計七噸)輸送機八機木更津十四日及十五日 臺南一回。

通報 航本總務部長 大海軍一部長

通六七〇六 呂一Bケ三) R (G F P 德永(小野田)

289



一 一三  
作戰緊急

受信〇〇七六一七

譯了 一一四五

電〇六二〇二

作 概

一聯合基地航空部隊△

セブ航空基地

機密第一二二一三七番電

H 二 A B 戰鬪概報第三八號 (一月十二日)

一 月光一機島南方西方海面索敵攻撃ノ爲〇五一〇發進天候不良ノ爲

引返ス ○五三五歸着八日以後當方面天候不良ノ爲黎明薄暮索敵

攻撃休止索敵線上敵ヲ見ス

二 敵機哨戒狀況 一一四〇ヨリ一六三〇間常時敵船團上空直衛ト小型

飛行機ノ通過スルヲ認ム

三 飛行機搭乗員現狀

零戰一・一・一・四 零夜戰二・二・二・二月光一・二・一・三 瑞

雲〇・〇・一・一 零水〇・〇・一・一

通六八一三 呂二B ラ一八八一五七一〇 ( ) 三二通

奥山 (塩田)

19. 1. 14

作戰緊急

信

一三

信〇五二五  
始〇五三五

了〇六三七

電〇五九七〇  
〇五九七一

作概〇  
本〇

小 崗 山 司 令 部

高雄、エチアゲ、ニコルス第一、  
クラーク中各空基地。ニ六航戦P

聯合艦隊P・南西方面艦隊P

機密第一二二三〇六番電 二分ノ二

G E G B 電令作第十一號

明十三日左ニ依リ作戰輸送ヲ實施スベシ

エチアゲ方面

〇二一空零式輸送機二機一式陸攻一機七六三空一式陸攻二機

一八三〇エチアゲ着黎明時發進高雄歸投

一〇二一空一式陸攻ニハ七六三空搭乗員ヲ以テ充當ス

マニラ方面一〇二一空一式陸攻一機二三〇〇ニコルス(又ハニルソ)

ン)着〇二〇〇マニラ發高雄歸投

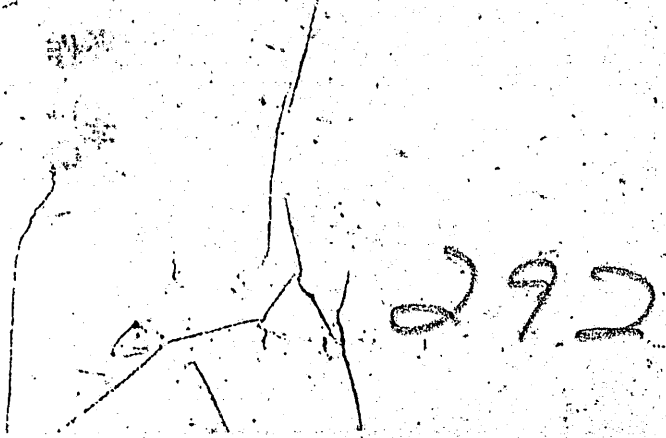
通六七九八 六八〇三 呂一Bラ十八(四五七二。五K)高通放

山崎(海田)

22. 1. 13

三十四日以後ハ成程得ル限ニ輸送極可ナルモノ、全カマニラ・クラ  
 ク・エチアゲ等送付加、豫定各基地要輸進人員概數及飛行場狀況  
 敵艦狀況ヲ速報スベシ。

（Faint, mostly illegible vertical text, possibly a list or report content. Includes some circular stamps and markings.)



292

下

作戰緊急

一 一 三

傍

子極秘

受 始信	〇〇	〇〇	〇〇
A	〇〇	〇〇	〇〇
B	〇〇	〇〇	〇〇
E	〇〇	〇〇	〇〇
J	〇〇	〇〇	〇〇

ニコルス第一航空基地

聯合艦隊口・南西方面艦隊口・三二戦隊

小樽山司令部

電〇五九六五

作概本〇

機密第一二二三一六番電

一 G P G B 参謀長

宛 六三四空司令

「クラーク」ヨリ「エチアゲ」ニ轉 道 本日當地ニ到着セル者ノ報  
 告ニ依レバ途中空襲及匪情ノ狀況ヨリ歩行轉進ハ極メテ困難ニシ  
 テ強行スルモ相當大ナル犠牲ヲ豫想セラルルヲ以テ此ノ際之ヲ取  
 止ムヲ可ト認ム（部隊發信シアラバ北非空司令ヨリ連絡方）。

通六八〇〇

品一ヒラキ八（四七）五〇〇（高細）

原

（附ひ）

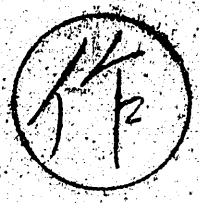
20. 1. 13

293

緊

急

一 二三 受信一七三四 譯了一八一〇 電〇六一三〇 航作衛本〇  
譯始一七五〇



東 印 部 隊戰團概報着信艦所

高雄 航空 基地

横濱航空基地・一挺進航空部隊・第二六航空戰隊  
第二鈴鹿航空基地・ニコルスフイル下航空基地・第二一航空戰隊

機密第一三〇八〇〇番電

發 第一〇二一海軍航空隊司令

本職一月十二日クライク基地ヨリ高雄基地ニ移動セリ (一 G F G B)

機密第一一二二八番電ニ依ル

通七〇九九 呂一Bケ三 (七五〇五K) 高通 大石 (標 澤)

294

人

一 二三 受信一四五九 譯始一五一六 譯了一五三五 電〇六一四六 作 概〇

緊急



小岡山司令部

ツゲカラ才航空基地・一聯合基地航空部隊戦闘概報着信監所  
南西方面艦隊

機密第一三一〇四四番電

發 一 G F G B 參謀長

攻撃目標ハ特令スルノ外極力人員ヲ多ク殺傷スルカ或ハ當面ノ戦況ニ  
大ナル影響ヲ及ボスベキモノニ選定シ特攻隊ハ現状ニ於テ人員物件搭  
載ノ輸送船空母艦艇ノ順トセラレ度。

通七〇一 呂一B (一三五二〇KG) 高通 渡邊 (森 田)

295

19. 1. 14

行動

一 一三 受信二〇二四 譯了二二三〇 電〇六二九三 作 概

作戰緊急

共

符

1/2

第一潜水部隊（先遣部隊）

大東

海・聯合艦隊口・四艦隊口・吳  
通・第三航空艦隊口・南西方面艦隊口・一聯通

機密第一三一七二一番電

極秘

金剛隊（伊四十八缺）

E B 電令作第十一號

一 各艦（十四日黎明迄）ニ攻撃ノ機ヲ得ザル艦ハ之ヲ中止シ、ハ吳ニ歸  
投スベシ。歸路好機ヲ捕捉敵艦船ヲ攻撃スベシ

二 伊五十八 伊三十六 伊五十三ノ歸投經由地點ヲ夫夫ニカヌ〇〇

ニユヌ〇〇 へムヌ〇〇附近トシ、伊五十六「トラツク」附近伊四

十七適宜ノ地點經由ノ如ク行動ス。

通七―八二 口―Bケ三（B）吳 スガ原（鈴 三）

19. 1-14

296



作概

10月  
11月  
12月  
1944  
1945  
1946  
1947  
1948  
1949  
1950  
1951  
1952  
1953  
1954  
1955  
1956  
1957  
1958  
1959  
1960  
1961  
1962  
1963  
1964  
1965  
1966  
1967  
1968  
1969  
1970  
1971  
1972  
1973  
1974  
1975  
1976  
1977  
1978  
1979  
1980  
1981  
1982  
1983  
1984  
1985  
1986  
1987  
1988  
1989  
1990  
1991  
1992  
1993  
1994  
1995  
1996  
1997  
1998  
1999  
2000  
2001  
2002  
2003  
2004  
2005  
2006  
2007  
2008  
2009  
2010  
2011  
2012  
2013  
2014  
2015  
2016  
2017  
2018  
2019  
2020

至急  
一三  
一四  
受信一七五五  
譯始〇五二〇  
譯了〇六三〇  
電〇六四三  
電〇六四六八  
作概〇  
參本

作

東京通信隊・聯合艦隊  
高雄通信隊

機密第一三一五五番電 二分ノ二

發 南西方面艦隊參謀長

通報 高雄警備府司令長官 一〇〇司令官

戰局ニ鑑ミアバリ方面ニ連絡補給基地ヲ確保スルコト緊要ナルトコロ

同方面ノ現状左ノ通

陸軍ノ状況碇泊場ハ突堤口ニアリ 尙尙風季風波ノ状況ニ依リバク

クナオ(エンガノ岬南方)ヲ使用シ車輛ニ依リアバリニ連絡アバリ

ヨリ少クトモツゲガオ附近迄大艱難航可能ナリ

通七 一四  
通七 一四五

呂一B ケ三(八八八四〇)三一通信

薩川(島田)

297

一、兵力第十二及一〇師團目下一カガヤン河河口ニ於テ掃蕩中陸軍大發  
 現有約二〇隻ハ海軍ノ利用差支ナキ意向ナリ

二、當艦隊トシテハ既定ノ連絡基地隊進出不能トナリタルヲ以テ一〇日  
 ヲ以テ兵器及少數警備兵力ノ進出準備中、尙可能ナル限りナルベク  
 早クマニラ方面ヨリノ人員ヲ轉用セシムル豫定

三、舟艇車輛糧食等ノ急送ヲ要ス。

(2)

298

↑ 天  
人

停

緊急

一四 受信〇〇九二〇二  
譯始〇〇九二〇二

譯了二〇〇二

電〇六五五七

作機〇  
航備  
兵本

東港空基地

聯合基地航空部隊△・六三四空

二一航戰▽・南西方面艦隊

機密第一三二六三〇番電

發 六三四空飛行長

宛 一GFGB參謀 六三四空司令

一 GFGB電令作第一三號關聯

一 第一日一月十四日以後連日各瑞雲三機使用時刻當日決定

二 「ニコルス」海岸へ搭乗員未知ニ付「キヤビテ」ヲ使用致度

三 瑞雲へ輸送能力僅少一一名ノミニ付出來得レバ大型機便ニ適宜候

乘方御手配相煩度

通七四〇九

呂二Bラ十八一九一四五K(高放)

石川(山中)

(→)

299

19. 1. 15

四 東港附近最近連日午前中濃霧一〇〇頃ヨリ霽ルルヲ例トス  
 五 一キヤビテ一附近天候豫想十四日ヨリ毎日一八〇〇迄ニ通知ヲ得度  
 六 使用電波五一三五暗號書多六八。

000  
 日

0303

14日  
受検  
致した  
了  
0920  
0950  
1200

受  
06619  
作概

緊急



一 一四  
受  
始信  
〇〇九三三  
〇九五〇  
了  
一三〇〇  
電〇六六一九  
作概  
〇

東

通

小崗山司令部

南西方面艦隊P・二六航空戦隊

機密第一三一六三二番電 二分ノ一

一 G F G B 参謀長

宛 大海参第一部長 軍務局長 G F 参謀長

(クラーク) 地区防空部隊 (三七警備隊) 編成ハ既ニ時機ヲ逸シ現状ニ即ヒザルモノナリ現在同方面海軍諸部隊ハ各航空基地司令指揮下ニ區分編成セラレ其ノ大部ハ陸戦ノ配備ニアリテ今ニ至リ編制サルルモ再ヒ軍隊區分ニ依リ右配備ニ部署ヒザルベカラズ。

- 一 東 通 註 本電誤字概メテ多シ
- 一 電信課註 本電二分ノ二既配布

通七四三五 呂二巴ケ三 (九一四五五) (高瀬) 明比 (崎) (

301

19. 1. 15

天  
人

信

緊急

受信一四三〇〇  
譯了、一五三〇  
電〇六六五七  
航作概本〇

一聯合基地航空部隊△・德乃島航空基地

南西方面艦隊F

ツゲガラオ航空基地



機密第一三一九一五番電

一G.F.G.B 戦闘機報一月十三日

一本日天候不良ノ為偵察並ニ攻撃ヲ實施セズ明日日本日豫定ニ準シ  
作戰ス

二明日可動機數零戦八

通七五二四 呂一Bラ十八(九一四五K) 高通放

青木(渡瀬)

19. 1. 15

302

0305

手記  
02 04 05  
06 07  
作板

作

緊急

一 二 四 受信 〇 二 二 〇 〇  
譯始 〇 〇 二 二 〇 〇  
了 〇 五 三 〇  
電 〇 〇 六 三 八 二  
電 〇 〇 六 四 四 七  
作 稿

二六根戰鬥概報着信艦所・三南遣艦隊各口

機密第一三二〇一八二番電 二分ノ二

六七B戰鬥概報 十三日空襲狀況

〇九四〇P一四〇 二〇パンダガン飛行場銃爆撃一六〇〇ヨリ一

六三〇迄P一四〇 二機パンダガン灣地區飛行搜索戰果擧げ

四〇 一機パンダガン銃爆撃飛行場使用不能十六日〇五三〇迄修

理完成ノ豫定

艦船狀況 〇口タイ水道大型輸送船四隻 驅逐艦一二隻 タルバ入港大型輸

輸送船一隻 驅逐艦二隻 大型輸送船一隻 驅逐艦三隻 針路東碇泊 (一八

通七三二五

呂一日ケ三 (六一三三、五〇) (二二通

石高 (増田) (1)

303

19. 1. 15

〇〇一輸送船大型三小型三驅逐艦三潜水艦五  
三敵機行動状況五口夕イ發進針路北乃至西大型中型九小型四不明二  
六計四七

304

(2)



↑  
人

作

一 一四 受信 〇〇五〇四 譯了 〇六四五 電 〇六四七一 作 概  
譯始 〇〇五二〇

緊急

一聯合基地航空部隊戰鬥機報告信艦所

セブ航空基地

機密第一三二一〇八番電

二二A B戰鬥機第三九號 (十二月十三日)

一 零夜戰一機〇六二〇發進ネグロス・シキホル島附近索敵攻撃

ルモ附近ニ敵ヲ認メテ天候快晴視界三〇哩

二 零夜戰一機一八五〇發進セブ東岸及西岸附近魚雷艇制壓一九一五

歸着

三 敵機襲來狀況 昨日ニ同シ。

四 飛行機搭乗員現状 天山一・一・一、四 零夜戰二・二・二、二

月光一・二・一、三 瑞雷〇・〇・一、二 零水〇・〇・一、一。

道七三五八 呂二Bラ一八(四五七二、五八)高放 田村(益森)

19. 1. 15

305

人  
人

一四 受信一二五八 譯了一三五五 電〇六六〇七 作 概  
開始一三一〇

作戰緊急

七 航空基地



一聯合基地航空部隊戰團概報着信艦所

機密第一四〇八四〇番電

日二A B 戰團概報其ノ一 (一月十四日)

零戦一機〇六一五發進「コロール島」  
「シキホール」島南方海面索敵  
攻電〇七四五着〇七一〇地點「ニモ三ツ」  
於テ特空母一隻中型輸送船約四〇戰艦二巡洋艦二驅逐艦六舟艇若干針路六〇  
度速力八節ヲ發見爆擊效果不明。

通七四八九 呂一Bラ十八 (九一四五K) 高通放 佐藤 (小林)

306

19. 1. 15.

6080

13.15 受信 13.15 作板 6.626

天

一 三 受信 一四三〇 電〇六六二六 作 藏〇  
一 四 譯始 一四一〇

緊急

傍

● ● ?

第八潜水戦隊

● 總無線艦所用共通符號

機密第一四〇九五九番電

發 先遣部隊指揮官

一 敵ハ臺灣ルソン間ニ數隻ノ潜水艦ヲ配シアルモノノ如シ十三日一九

二五地點ツノイ三一・二〇五〇地點ヘクハ〇〇ニ各一隻ノ方位測定

セリ

二 南支那海ノ敵機動部隊ヲ十三日〇五四五地點ツツレ四一・二〇五〇

地點モシヨ三四ニ方位測定セリ

三 リンガエン灣方面ノ敵ハ十二日距岸數哩ニ進出一部小型艦上機飛行

場ノ所用ヲ開始セルモノノ如シ。

通七四九九 呂一Bケ三(五二九五K)六P 在吉(南) (谷)

19. 1. 15

307

人

Handwritten mark

緊急

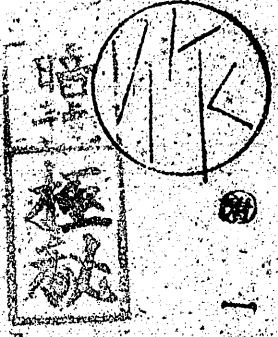
一一五 受信〇九〇四 譯丁一一〇〇 電〇六九六八 作  
譯始〇九四二

セブ航空基地



一聯合基地航空部隊戦闘機報告信艦所

機密第一四二〇二九番電 二分ノ二



三敵機來襲狀況 〇七三〇ヨリ一九〇〇頃迄敵船團上空直衛ト共ニ

敵小型機一艇約一〇機一常時上空ヲ通過港灣及附近ニ飛來ス搭乘

員現狀零戦〇・一・一・四零夜戦二・二・二、二月光一、二、二

三瑞雲一〇・一・一零水〇・〇・一・一。

一電信課註 本電二分ノ一既配布

通七八五九 呂二〇ヲ十八、七五〇五知一高通 田村(淺岡)

Handwritten signature

20. 1. 16

人

緊  
急

作

一 一五 受信〇七〇五 講了〇八二〇 電〇六九二三 作 概  
講始〇六五五

二 六 特 根

二六特根戰艦總隊着信艦所、三宮遺艦隊各戸

機密第一四二一一五番電 二分、二

昨日テルナー附近海岸ニP1四〇、一機墜落搭乗員一名ハ捕虜ト

セリ

三 艦船狀況

モ口夕イ島水道魚雷艇延十二昨夜ルハ碇泊(一八〇〇)輸送船大型

三 小型二駆逐艦二魚雷艇九

三 敵機行動狀況

モ口夕イ發進針路北乃至西中型一小型二〇不明二七計九八。

電信譯註 本電二分ノ一既配布

通七八二九 呂一〇ヶ三艦(一八三六七、一八三六八)廿一通

奥島(松山)

309

20. 1. 16

一 一五 受信 一七三八 譯了 二二〇五 電 〇〇七六九二〇七四 參作 概本〇



南西方面部隊情報着信監視所  
支那方面艦隊口十戰隊

機密第一四二一三〇番電 二分ノ二

發 南西方面艦隊參謀長

陸戰情況 (十四日一七〇〇現在)

一、「ダモルテス」附近敵數ヶ中隊集結中ニシテ其ノ東方五〇軒ノ  
地點ニハ約一箇中隊ノ敵進出シ來リ我ガ部隊交戰中

二、「サントトーマス」「アゴサキ」方面ニ敵上陸シアルモ行動活  
潑ナラズ

通 七八一三〇二

天 B ラ 一 一 (九一四五 KC) 高通放

佐藤・渡邊  
深澤 (塩田)

310

三「プロタイ」方面約一箇大隊ノ敵ハ其南南東二軒附近ノ高地迄侵入一部兵力ハ更ニ其ノ高地東方ニ進出「タイン」迄達シアルモノノ如シ

四「マタダイ」南方ノ敵ハラブアン東方ニ突出シアリ

五「マナオアグ」附近敵ノ攻撃猛烈ナルモ我ヨク戦線ヲ保持シア

六十三日敵後續兵團ノ上陸ヲ終了セルモノノ如シ

七「サンフアピアン」以西ノ情況不明。

（電信課註 前紙確實焼却相成度（電整理番號〇六九〇四）ニテ既配布）

（東通 註 本電誤字極メテ多シ）

一 一五 受信 ○三二〇 譯了 ○六三〇 電 ○六九〇四 參作概本

作

● 南西方面部隊情報着信艦所  
● 支那方面艦隊口・一〇戰隊

密第一二二二二二〇番電 一其ノ二

發 西方面艦隊參謀長

陸戰情況 (十四日一七〇〇現在)

一 「タモルテス」附近敵數ヶ中隊集結中ニシテ其ノ東方五〇軒ノ地點

ニハ約一箇中隊ノ敵進出シ來リ我が部隊交戰中

二 「サントトーマス」「アゴサヤ」方面ニ敵上陸シアルモ行動活潑ナ

ラズ

三 「プロタイ」方面約一箇中隊ノ敵ハ其ノ南南東二軒附近ノ高地迄侵

入一部兵力ハ更ニ其ノ高地東方ニ近出「クイン」迄達シアルモノノ

東通註 本電誤字極メテ多シ  
電信課註 本電其ノ一未着

通七八〇二 天一ヨラ十一 (四四四二K) G R F 放 (松山)

0314

3/2

20 1 16



0315

15日通信始  
1050  
1760  
1903  
7277  
7278  
通信

4y

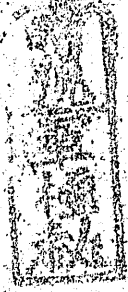
緊急

一一五  
受信一七〇五五  
譯始一七四〇

譯了九〇三

電〇七五七七  
電〇七一七八

通  
般



發 南西方面艦隊參謀長  
宛 大本營海軍通信部長

「バギオ」通信施設ノ現状左ノ通

- (1) 人員電信員八四名暗號員六十名(受信機)
- (2) 兵器短三號三短四號三短移動四(受信機) 二二二(以上假裝備中) 外ニ若

干ノ豫備兵器アリ

(3) 通信配備

通七八三九  
通八一二〇

呂一Bラ十八 (八八八四)  
(四四四二) GEF

住吉(角田)

(一)

局長	機密第一	機密第二	機密第三	機密第四	機密第五	機密第六	機密第七	機密第八	機密第九	機密第十
A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K
南西方面艦隊	聯合艦隊	東京通信隊	高雄通信隊	六艦隊	三二番艦	三二番艦	三二番艦	三二番艦	三二番艦	三二番艦

313

20. 1. 16

- 三一 通放送中央固定五時六時三 K F 旗艦同一般三 K F 第一見張系
  - 二 A B 基地系 (以上交信) 東一放東二放高二放十通二一通又ハ第
  - 二見張系 H 三 A B 基地系對三一通特定通信系(一一二 K C) (以上受信)
- 兵器整備セバ G K F 長官旗艦及一「カイツハ」待受實施ノ豫定
- (二) 郊外電源空襲ノ都度燒損切斷應急電源又充分ナラズ交信圓滑ヲ缺ク

事多シ

進

二、V 第三十一通信隊ノ主力轉セルト電源管制線ノ故障ノ爲現在ハ

左ノ通配備ヲ縮少セリ

- 一 遣特定通信三一根乙種及聯合艦隊第六特定系
- 二 待受東一放送高雄第一第二放送一カイツハ G K F 司令長官旗艦 H
- 三 A B 基地系 (其ノ他不明)

東通註

本電誤字極々多シ  
誤譯ノ爲遲延

42

作戰特別緊急

一五 受信一六四〇  
一七五五 電〇七一六〇 作  
機

七 航空基地



機密

聯合基地航空部隊戰鬥報着信艦所

機密第	一五	〇九	〇七	番電
局長	局長	局長	局長	局長
月十五日	E	J	G	

日二A B 戰鬥遠報

零夜戰一機〇六一五發進シキホール島ネグロス島南方海面索敵攻撃〇八  
 一五歸着〇七〇五「ツモ三ス」ニ於テ小型輸送船一一隻巡洋艦六隻驅逐  
 艦及魚雷艇二五隻針路一五〇度ヲ發見攻撃巡洋艦二六番一直撃「三字受  
 信脱」ニキモ四エニテ空母二隻驅逐艦六隻輸送船八隻並ニ小艦艇數隻針  
 路三三〇度速力一四節直衝機ナシ附近天候曇視界五乃至一〇哩。

通八〇七五 呂二B (九一四五KC) 下島 (森 田)

20. 1. 16

315



一 一六 受信一三五〇二 轉丁一七〇〇 電〇七六二六 作 〇  
譯始一五〇〇 航本

クラーク一聯合 基地航空部隊戰團司令所

一聯合基地航空部隊戰團報着信區所

機密第一五一八一六番電

「クラーク」情況報告(十五日)

一〇九〇〇B1二四 二四機飛行場及タルラツク爆撃

二一四〇〇戰團機四機艦爆三機〇五三八戰團機二機飛來各回共長時

間ニ亘リ飛行場地區統爆撃

三アラヤツト及其ノ北方ヨリ來襲シ居ルモノノ如シ。

通八六〇三 呂二Bラ十八(八八八四KC) GK 放 岩井(杉本)

316

20. 1. 17



比島陸軍

作

緊急

一六 受信一三一四 譯了一五四〇 電〇七五九五 作概〇

参本

南西部陸情報者信務所

菲島部隊・第一聯合基地航空部隊

機密第一五一九二〇番電

南西方面陸陸參謀長

陸軍狀況（一月五日）

一、「ダモルテス」東方二村ニ進出シ來ル敵ハ戰車三〇臺ヲ有シ攻撃シ來レルモ之ヲ擊退

二、西端マビラオ北東四村ノ哨戒線ニ對シ約二ヶ大隊ノ敵侵入シ來リ目下激戰中

三、其ノ他ノ戰線異狀ナシ「リンガエン」附近ヨリ南進中ト認メラレタルモ依然不明（同方面陸軍力配備ナシ）

通八五八〇

呂一〇

（ナニヤナニ）

20. 1. 7

317

0320

16日  
11.60  
12.05  
13.05  
14.05  
15.05  
16.05  
17.05  
18.05  
19.05  
20.05  
21.05  
22.05  
23.05  
24.05  
25.05  
26.05  
27.05  
28.05  
29.05  
30.05

概航

人

作

一六  
一六

受信一四〇五

譯了二三〇五 電〇七五九二

航作  
本〇

一聯合基地航空部隊戰闘概報着信艦所

セブ航空基地

機密第一五二〇一一番電

日二A B 戰闘概報第四一號 (一月十五日)

一零夜戰一機シキホール島ネグロス島南方海面黎明索敵攻撃ニ關シテハ速報通

島東

二零戰一機一八二〇發進レイテ島西岸セブ 岸敵魚雷艇制壓一

八五五アスアハオ沖ニ敵魚雷艇三舟艇一ヲ發見銃爆撃一九二〇

歸着

三敵機來襲情況昨日ニ同ジ

通八五三八 呂二B ラ一八 (八八八四BO) GR放

日野原 (塩田)

(1)

20. 1. 17

3/8

四 飛行機搭乗員現状零戦〇・一・一・四 零夜戦二・二・二・二月  
 光一・二・二・三 瑞霧一・〇・一・一 零水〇・〇・一・停。

〔東通註 本電観字極メテ多シ〕

(2)

319





0323

零戦型約四〇機（ヲ主トシテ鉦爆撃（九日來變ノ場合モ主トシテ  
四機ヲ攻撃セリ）。

321



緊急

一六  
受信一四五五 譯了一九三〇 電〇七五八五  
譯始一六一〇 〇七六九二 作概

小山山司令部

一聯合基地航空部隊戰鬪概報着信歸所



機密第一五二二二四番電

三分二二

(四)北非方面天候不良ノ爲攻撃ヲ實施出來ス

(五)H二AB所報通り

四十三日彩一機(リンガエン一灣附近索敵ニ發進セルモ故障引返セ

ル外十二日ニ同シ

五十四日

(六)彩雲三機午後南支那海北部索敵一五三〇(三〇四エ)ニ敵機動

部隊ヲ發見攻撃ヲ實施スルニ至ラズ

通八五六四 呂一〇ケ三(九一四五)高通放 徳永(吉井)①  
八六三八

222

20. 1. 17

(ロ) 在臺灣月光一機天山一機サンガエン攻撃ノ爲出發セルモ天候不良引返ス

(ハ) ツゲガラオ一方面天候不良攻撃ヲ實施出來ス

(ニ) H二A B 指揮官所報通り

六九日ヨリ十四日迄陸攻陸輸月光水偵延二五機(内八機引返ス)ヲ

以テ作戦輸送實施一二五名菲島ヨリ轉進ヲ了ス、被害陸攻三機

(一) 電信課註 本電三分ノ一未着

323

(2)

人

作

至急

一 一六 受信〇〇三〇〇六 譯丁一〇〇〇 電〇七五二二 作

聯合基地航空

部隊戰鬪概報着信艦所

新 航 空 基 地

機密第一五二二〇七番電

二分ノ一

一 戦鬪 報第二號 十五日 其ノ二

偵察在ツヘガヲオニ天山紫電各一機ヲ以テ午前(リングアエン)灣

及北方ルソン沿岸偵察

三 攻撃 (在戰鬪第四三〇飛行隊)

(1) 第一次特攻 (爆戰三直掩四) 一三〇七 (リングアエン) 灣敵艦船ヲ

攻撃直掩四機歸着戰果

電信課註 本電二分ノ二未着

通八四一五 呂二月ラ十八 (八八八四K) 南西方面艦隊放

徳野(増田)

20. 1. 17

324

○



南西方面部隊情報着信歸所

一六 受信 〇二〇五 〇七五〇 電 〇七四七八

三 一 通 五 分 道 隊

作 概 本 〇

機密極大

機密第一五二二二〇番電

發 G K P 參謀長

「リンガエン」方面上陸敵軍ノ戦法其ノ一

一、敵同方面部隊ハ我陣地ノ間隙ニ侵入又ハ陣前近ク近接シアリ夜間ハ

後方ニ避退スルヲ常トス

二、敵ノ戦車ハ主力部隊ニハ歩兵直協ニ率制シアリテ其ノ兵力歩兵ニ

大隊ニ對シ一〇乃至一五輛ニシテ「ニューギニヤ」方面ト相似セル

諸情勢ナリ

通八三八〇 呂 一 B ラ一八八八八八四 〇 G K P 放 下島 (吉井) 〇

325 20. 1. 17

三敵ハ戰場ノ住民ヲ利用夜間ノ警戒ニ任セシメツツアリ且住民ノ  
多クハ武裝ヲ施シ我ガ小數ナル挺身斬込ハ逐次困難ナリツツアリ

326



0330

16日  
午後  
16時  
開始  
了  
0162  
0217  
08-  
0704

作概

緊急



一六  
開始00二一四二  
了0八〇〇  
電〇七四四二  
作概〇

第二六航空戦隊・菲島部隊  
南西方面部隊情報着信艦所

機密第一五二二二五番電

發 南西方面艦隊參謀長

「リンガエン」方面 軍戦法其ノ二

敵ハ我ガ陣地攻撃ニ當リ我ガ第一線ト第二線ヲ遮斷ノ爲煙幕ヲ構成

該煙幕ハ若干嘔吐及目暈生ズル點ヨリ嘔毒性アルカ又ハ黃磷製ナラ

ズヤト判断セラル

敵ハ我ガ斬込ヲ警戒右ノ如ク處置ヲトリアリ

(1) 斬込警戒ノ爲軍犬ヲ四圍ニ配ス

(2) 夜間ハ極メテ靜肅ニシテ絶對ニ聲ヲ出サズ連絡ニ 口笛及 隱顯燈ヲ利用

(3) 歩哨通常竹籤等ノ茂ミニ位置シ誰何スルコトナクシテ狙撃ス

八四〇四 呂二Bラ十八 (八八八四) 山下 (海)



(一) 夜間斬込隊ノ通路ニ釘ノ立タル板ヲ多數ニ置キ地下足袋ニヨル

近接ヲ妨害

(二) 戦車ハ夜間周圍ニ歩哨ヲ配置シ内周ヲ緩除ニ行動靜止セズ  
戦車ノ大部ハM四中戦車ナリ。

〔東通註 本電誤字極メテ多シ。〕

329

(M) 人

作

作戰特別緊急

一一六 受信〇三〇一〇九 譯了一四三五 電〇七五六五 作 概

一聯合基地航空部隊戰鬪概報着信繼所

機密第一六〇七五六番電

日二△B 戰鬪速報 (一月十六日)

零夜戰一機〇五五五發進ナルホーシ島ネグロス島南方海面索敵攻撃〇  
六四〇頃「ホモ四テ」ニ於テ中型輸送船三〇隻小型輸送船團二〇巡洋  
艦五隻驅逐艦一五隻針路九〇度發見攻撃效果不明〇七一五歸着

通八五五八 呂二Bラ十八 (九一四五K) 高放 岡崎 (上野)

20. 1. 7

330